

## 問題発見型／解決型学習(FBL/PBL) テーマ提案 (学生募集内容)

テーマ名称	集落エリアにおける新たな居住のデザイン (京都市京北地区) (仮)
実施責任者	工学研究科建築学専攻 教授 神吉紀世子 デザイン学ユニット (調整中)
実施協力者	フィールド協力者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・京北自治連合会 会長 久保敏隆</li> <li>・京北森林組合 参事 吹上弘之</li> <li>他 (調整中)</li> </ul> <b>International Discussant</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飯田恭子 europaïschen LEADER Region Regionalforum Fulda-Südwest リージョナルマネージャー (在ドイツ, Dr.-Ing.)</li> <li>・アジア地域から1名 (調整中)</li> </ul>
テーマの背景	サステナブルな居住域の形成と持続のためには、非都市エリア、すなわち、集落エリアが衰退せず持続することが必須である。都市縮小が生じている地域、メガシティ化の抑制が必要な地域のどちらにおいても、集落エリアの積極的な持続が伴う必要があるが、しかしながら、集落エリアの実際は一般に、長らく続く第一次産業の低迷や人口減少・高齢化等の傾向にあって、当面の将来像の描出も容易ではない状況がある。また、集落エリアには都市化を免れた結果、重要な自然環境・歴史的環境も残されておりその保全のためにも地域の持続が望まれる。これらの背景から、必ずしも既存のスタイルに閉じない、新たな居住や生業のあり方が切実に求められている。集落エリアのこうした状況は、国内外を問わず存在し、新たなあり方の検討・議論は、1地区に閉じず、異なる地区の間での連帯を活用することも重要になっている。
実習の概要	京都市北部山間部を事例対象地とし、とくに京北地区 (217.68km <sup>2</sup> ) を主たるフィールドとする。当該エリアは、北山杉に代表される林業地域として著名であるが、当地においても林業は停滞・衰退傾向にある。また、重要な歴史遺産を多数有し、全域にわたって優れた自然環境、集落景観が保たれている。京北地区を事例として、新たな居住のあり方 (複数グループの居住を想定する予定) とそれに連動した集落エリアに関する種々のリソースの顕在化およびその持続・形成のため地域計画提案を検討する。ここで居住とは住機能だけではなく、職・余暇等の生活の全体を対象とし、また、必ずしも一所に留まるとも限らない。具体的には別途詳解する。今回検討を行うにあたって、国内外の集落エリア間で議論を共有し、地区間連帯の可能性を鑑みることを念頭に、 <b>International Discussant</b> の参加をとりいれる。 <b>Discussant</b> としては、EU の主要な集落エリアプログラムである <b>LEADER</b> プログラムの選定地域の1つ、ドイツ・フルダ南西地域を担当する専門家である <b>LEADER</b> プログラム・リージョナルマネージャーの飯田、アジアの急速なメガシティ化の進む文脈下で歴史的集落環境の持続保全に取り組む <b>Discussant</b> を1名迎え、インターネット経由ではあるが進行にそって逐次の参加を得る。
実施計画、実施場所	京都大学内、および、京北地区において行う。 詳細は実施計画を参照。

履修条件	京北地区で実施する場合は土曜日・休日開催となる予定である。複数回を費やすことになることを前提としている。
募集人数	概ね、3名以上、9名以下
募集締切	2013年10月11日(金)
応募資格	応募多数の場合には、デザイン学本科生・予科生を優先する。
応募方法	以下の項目を記載したメールを送付。 To: kanki@archi.kyoto-u.ac.jp CC: fblpbl-application@design.kyoto-u.ac.jp Subject: [FBL/PBL 参加申込] テーマ名称 本文: 氏名、所属組織、役職・学年、メールアドレス、Web ページ、テーマ名称、背景知識・専門性、応募の動機、その他
履修者の決定	2013年10月18日(金)までにメールで参加の可否を通知。
問題発見や解決に用いるデザイン理論やデザイン手法	Landscape Survey (各種手法) Future Workshop (customized version) 他 (追記予定)
理論や手法の学習方法	
実習の公開方法	終了後に Web 上で公開
成績評価方法	出席 4 割 最終レポート・発表 3 割 活動状況 3 割
特記事項	

## 実施計画 (予定)

コマ	日程	場所	実施内容
3	10月	京大/京北 (含・Skype Lecture)	オリエンテーション、集落調査の基本、既存制度・手法の実績と課題等、集落エリア将来構想の実績 (LEADER プログラム、コミュニティプログラム他)
5	11月	京大/京北 (含・Skype Lecture)	集落調査の設計、調査と提案の連動プログラムの設計、調査の実施
5	12月	京大/京北 (含・Skype Lecture)	調査の実施、提案の検討 第一次プレゼンテーション
2	1月	京大/京北 (含・Skype Lecture)	冬期条件下での提案確認等 最終プレゼンテーション

※KRP: デザインイノベーション拠点 (京都リサーチパーク 9号館 5階)